



レンズ越しのありのまま

# 世界報道写真展



「タニエル・レブロン」の部 組写真3位  
「日本の爪痕」  
タニエル・レブロン(ポルトガル) 組写真3位「日本の爪痕」  
タニエル・レブロン(ポルトガル) 組写真3位「日本の爪痕」  
タニエル・レブロン(ポルトガル) 組写真3位「日本の爪痕」



「フットボール」の部 組写真1位  
「フットボール」の部 組写真1位  
「フットボール」の部 組写真1位  
「フットボール」の部 組写真1位

2013 6.8sat ▶ 8.4sun 東京都写真美術館 地下1階展示室

開館時間：10:00～18:00(木、金は20:00まで)入館は閉館の30分前まで  
休館日：毎週月曜日(7月15日開館、翌16日閉館)  
観覧料：一般700(560)円/学生600(480)円/中高生・65歳以上400(320)円  
小学生以下・第3水曜日は65歳以上無料、お身体に障害をお持ちの方とその介添者は無料 ※( )は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会会員割引料金  
チケットはセブンイレブン(店内マルチコピー機)・セブンチケット・楽天【セブンコード:022-879】でお買い求めいただけます。東京都写真美術館は当日券のみ販売。  
主催：世界報道写真財団、朝日新聞社 共催：東京都写真美術館 後援：オランダ王国大使館、公益社団法人日本写真協会、公益社団法人日本写真家協会  
協賛：キヤノンマーケティングジャパン株式会社 お問い合わせ：東京都写真美術館 TEL.03-3280-0099 <http://www.asahi.com/event/wpph/>



## 世界報道写真展

2012年も地球上では世界を震撼させる出来事が発生し、思いがけないドラマが各地で生まれました。第一線で活躍するドキュメンタリー写真家、報道カメラマンたちは今年も勇気と行動力のたまものである作品を発表しました。世界報道写真財団と国際審査員団によって10万点を超える応募作の中から厳選された展示作品は、私たちに「世界の今」を知り、考えるきっかけを与えてくれます。パレスチナ自治区ガザ、シリア、スーダンでは人間同士の憎み合いと殺戮が続いています。日本でも未曾有の震災と大津波による被災から2年の歳月が流れたものの、復興の筋道を描き、希望を持てる社会を再構築するのは容易ではありません。ケニアの貧民街で廃品回収で生計を立てる女性が、ゴミの山からふと目にとまった「工業製品のカタログ」を楽しみにめくる作品があります。「ゴミ拾いに明け暮れる毎日の中で、それ以外のことができる大切な時間なの」。憎しみにとらわれることも、ひとときの平穏に満たされることもできる人間性が1枚の写真に宿っています。会場ではそれぞれの物語にあふれる約160点の写真を展示します。

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>世界報道写真賞 2012<br/>ポール・ハンセン(スウェーデン) デーダグン・ニューヘルド<br/>パレスチナ自治区ガザ(=11月20日)</p> | <p>「一般ニュース」の部 組写真1位<br/>ロドリゴ・アブド(アルゼンチン) AP通信<br/>シリア、イディブ(=3月10日)</p>                 | <p>「スポーツ・アクション」の部 組写真2位<br/>セルゲイ・イルニツキー(ロシア) EPA通信<br/>ロンドン(=7月31日)</p>      |
| <p>「スポーツ・フィーチャー」の部 組写真1位<br/>ヤン・グラッブ(デンマーク) ライフ<br/>ソマリア、モガディシオ(=2月21日)</p>   | <p>「現代社会の問題」の部 組写真1位<br/>ミカ・アルバート(アメリカ) リダックス・スミーズ<br/>ケニア、ナイロビ(=4月3日)</p>             | <p>「現代社会の問題」の部 組写真1位<br/>マイカ・エラン(ベトナム) モスト<br/>ベトナム、ダナン(=6月22日)</p>          |
| <p>「日常生活」の部 組写真2位<br/>セレン・ピストロップ(デンマーク) ベルリンスケ<br/>イタリア、イエソロ(=7月8日)</p>       | <p>「観衆像」の部 組写真3位<br/>イロナ・シュワルツ(ポーランド) リダックス・スピクチャーズ<br/>アメリカ、マサチューセッツ州ボストン(=2月19日)</p> | <p>「自然」の部 組写真1位<br/>クリスチャン・ツィーグラー(ドイツ)<br/>オーストラリア、ブラックマウンテンロード(=11月16日)</p> |

### 第6回写美フォトドキュメンタリー・ワークショップ

講師：Q. サカマキ(写真家、WPP07受賞者、NY在住)、外山俊樹(「アエラ」フォトディレクター)

7月13(土)～15(月祝)3日間連続 事前申込み制 参加費:¥20,000 定員:20名 詳細は東京都写真美術館ホームページ syabi.comをご確認ください。

東京都写真美術館は、21世紀のフォトドキュメンタリー、フォトジャーナリズムについて実践的な方法を考えるワークショップを開催いたします。フォトドキュメンタリーの最前線で活躍する講師を迎えて、レクチャー、ポートフォリオ・レビュー、クリック・セット・エッセイ制作を3日間で行う集中セミナーです。国内では数少ないフォトジャーナリズム、フォトドキュメンタリーの現場を学べるプログラムです。